

東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成20年4～6月期

【今回調査のポイント】

中小企業の景況感は前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも、5期連続でマイナス幅が拡大した。(1、2ページ参照)

○調査項目	1. 業況	: 1ページ
	2. 売上	: 3ページ
	3. 採算(経常利益)	: 5ページ
	4. 資金繰り	: 7ページ
	5. 民間金融機関の貸出姿勢	: 9ページ

【調査の概要】

○調査期間: 平成20年5月28日～6月3日

○調査対象: 東京23区内の中小企業2,443社

○調査方法: F A Xおよび経営指導員による聴き取り

○回 答 数: 893社(回答率36.6%)

※有効回答企業の業種別構成

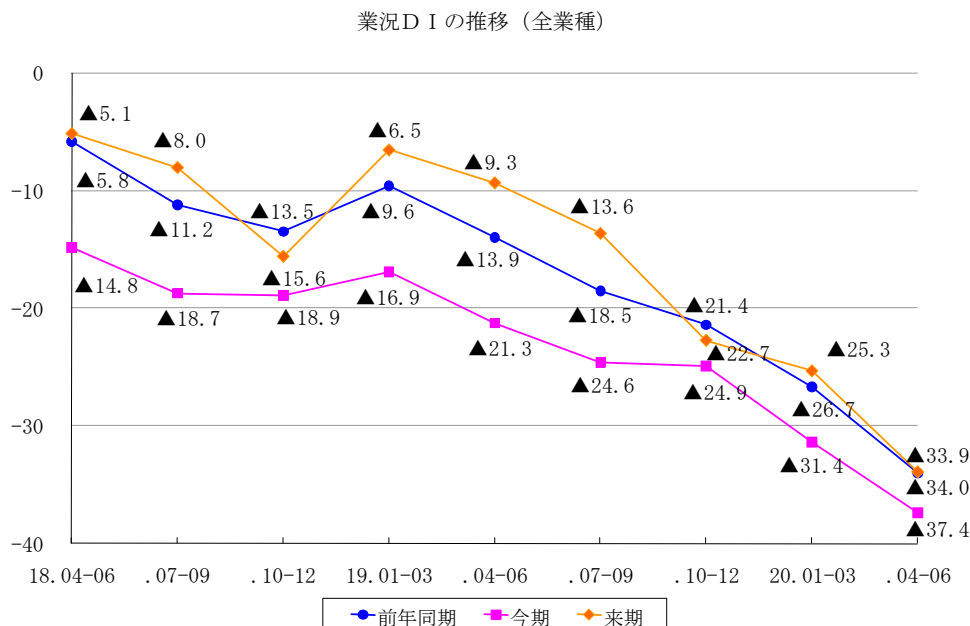
・製造業 254社(28.4%)	・建設業 106社(11.9%)	・小売業 133社(14.9%)
・卸売業 136社(15.2%)	・サービス業 264社(29.6%)	

平成20年7月

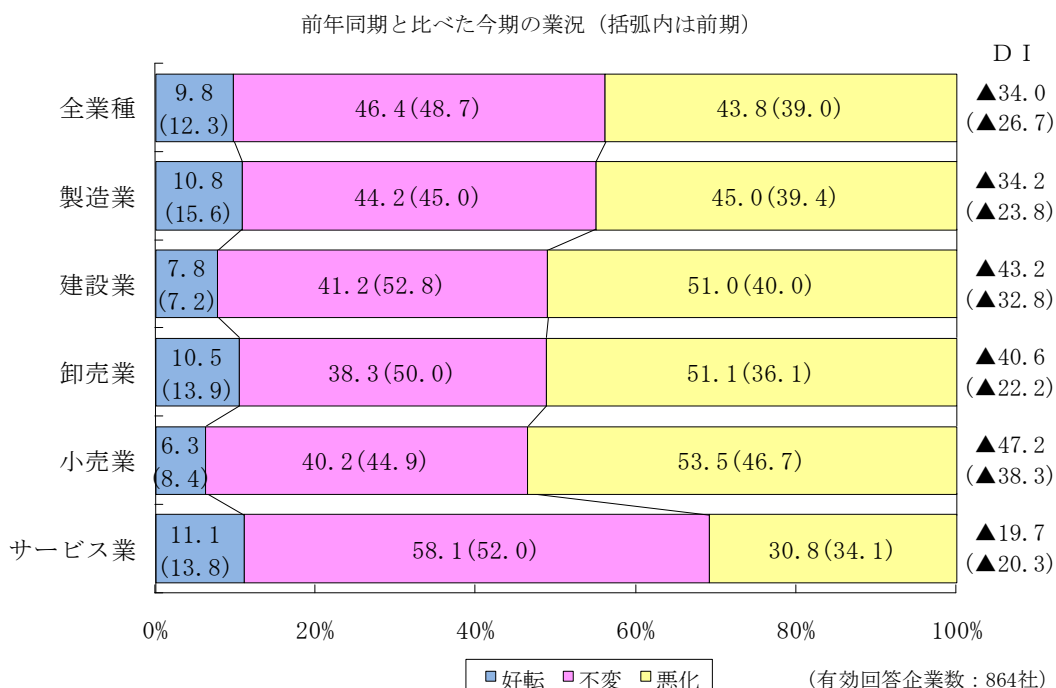
東京商工会議所 中小企業部

1. 業況

○全業種の「業況DI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも、5期連続でマイナス幅が拡大した。

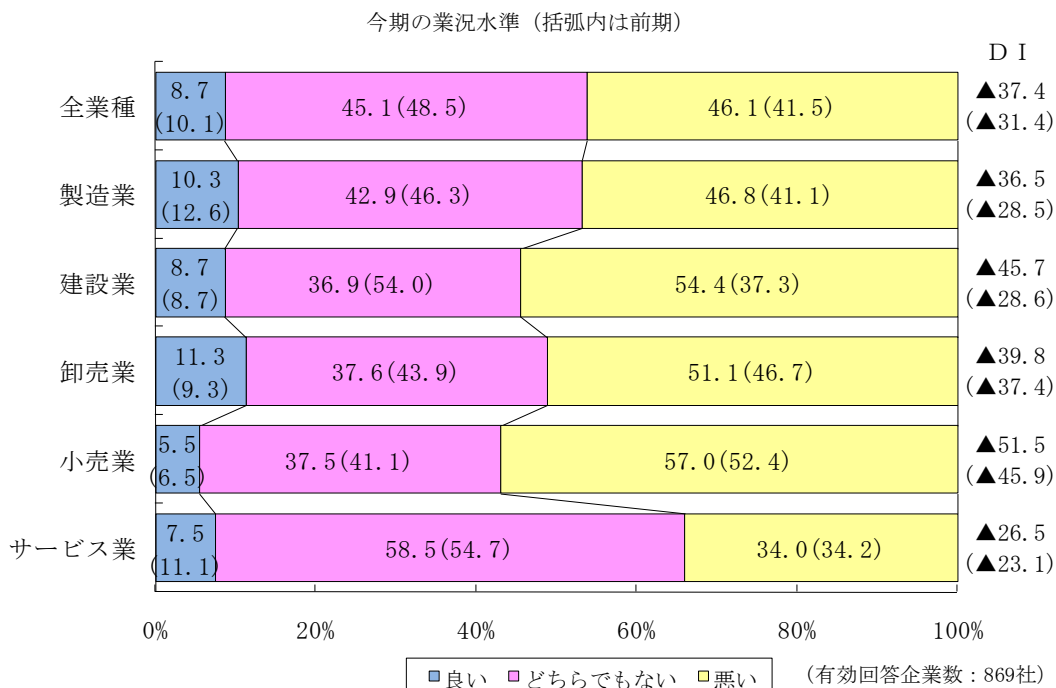


【質問1】前年同期（平成19年4～6月期）と比べた今期（平成20年4～6月期）の業況（自社）はどうか。



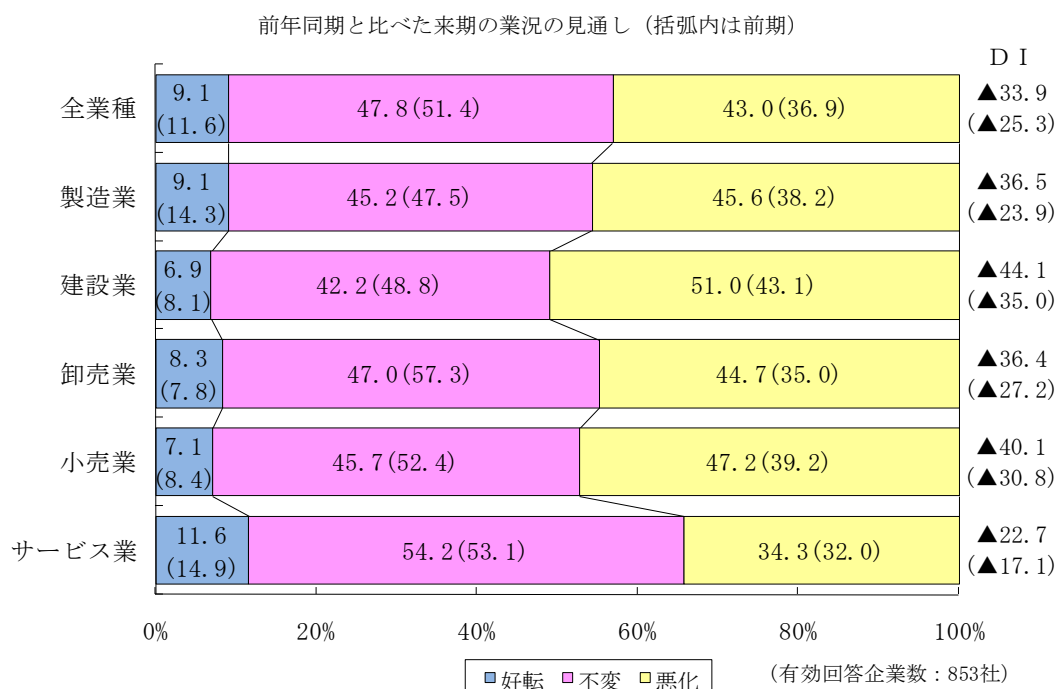
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の業況DI」は▲34.0（前期比▲7.3ポイント）となり、5期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・サービス業を除いた全業種でマイナス幅が大幅に拡大した。特に小売業が▲47.2と極めて低い水準となった。また卸売業が▲40.6（前期比▲18.4ポイント）とマイナス幅が大きく拡大した。

【質問2】 今期（平成20年4～6月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の業況水準 DI」は▲37.4（前期比▲6.0 ポイント）となり、5 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみても、全ての業種においてマイナス幅が拡大し、特に建設業のマイナス幅が 10 ポイント以上拡大した。

【質問3】 前年同期（平成19年7～9月期）と比べた来期（平成20年7～9月期）の業況（自社）の見通しはどうか。

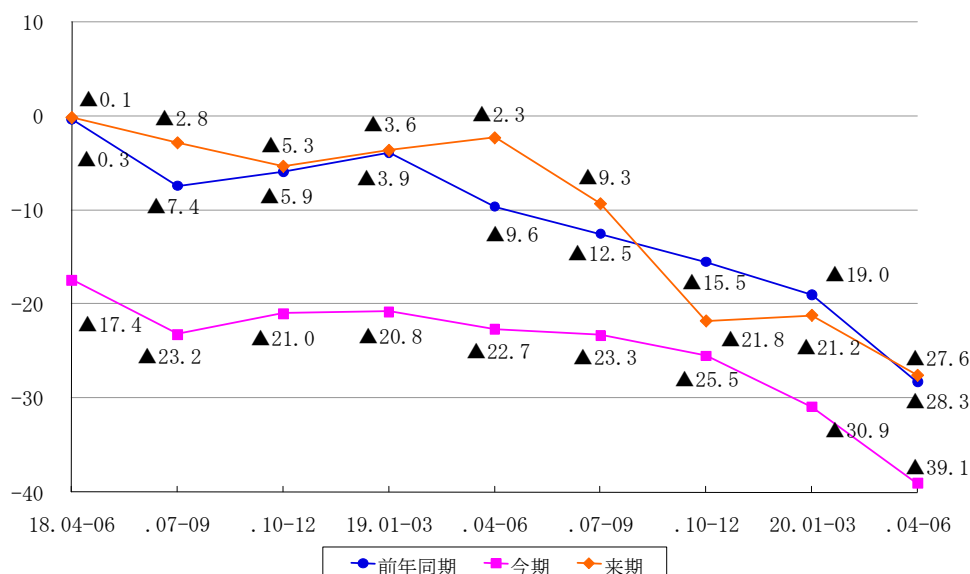


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の見通し DI」は▲33.9（前期比▲8.6 ポイント）となり、5 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみても、全ての業種においてマイナス幅が拡大した。なかでも製造業が 10 ポイント以上、建設業、卸売業、小売業が 10 ポイント近く、マイナス幅が拡大した。

2. 売上

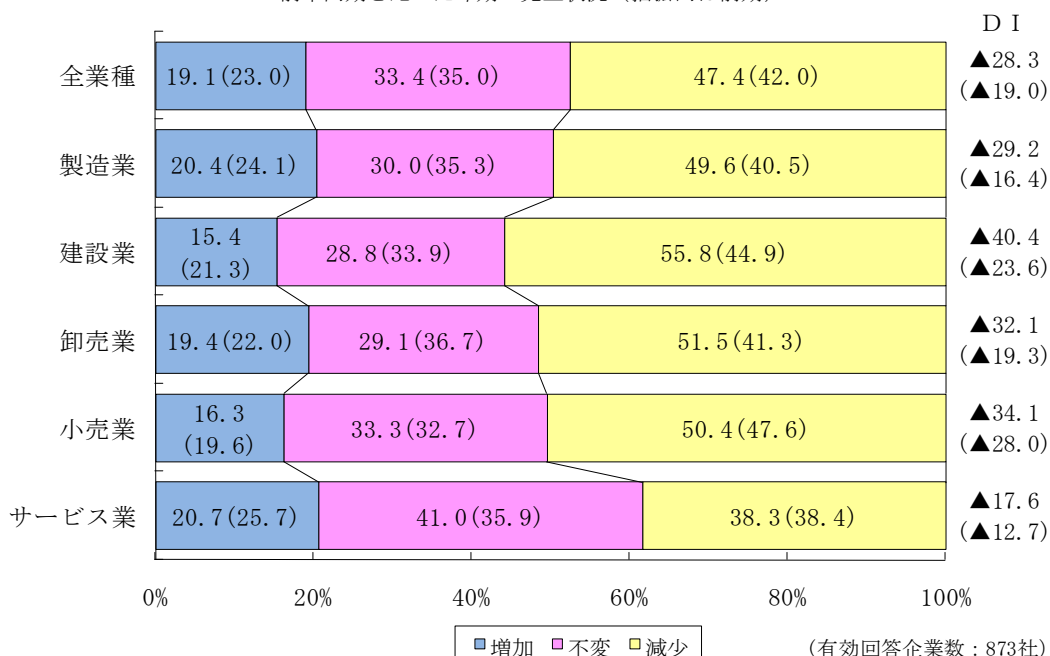
○全業種の売上DIは前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が拡大した。特に「今期の売上水準DI」は▲39.1（前期比▲8.2ポイント）となり、5期連続でマイナス幅が拡大し、低い水準となった。

売上DIの推移（全業種）



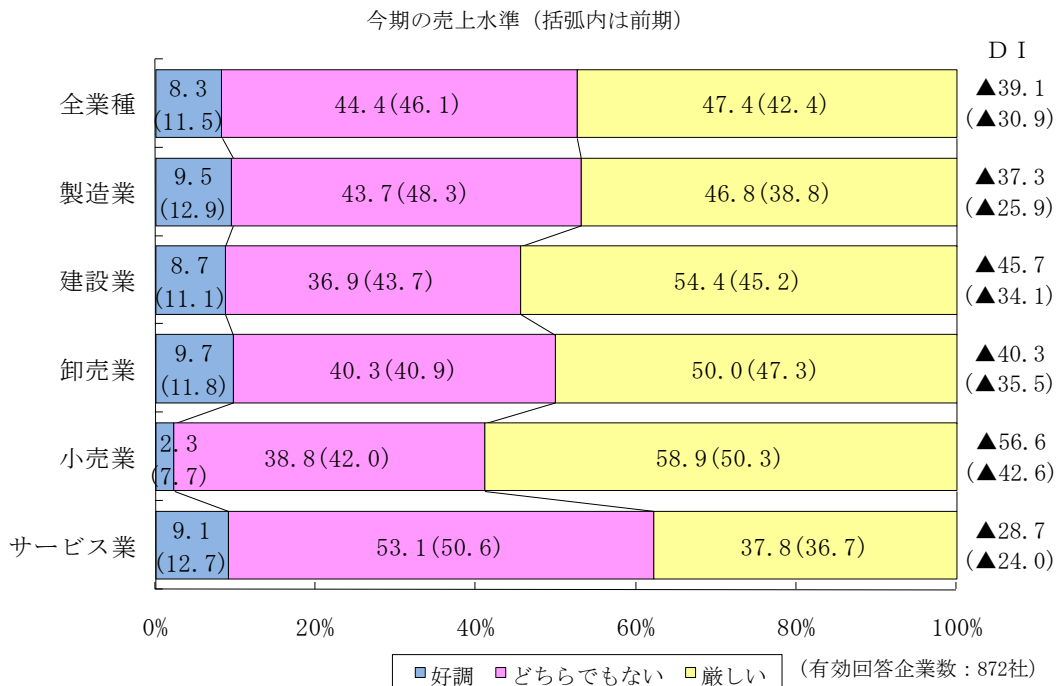
【質問4】前年同期（平成19年4～6月期）と比べた今期（平成20年4～6月期）の売上状況はどうですか。

前年同期と比べた今期の売上状況（括弧内は前期）



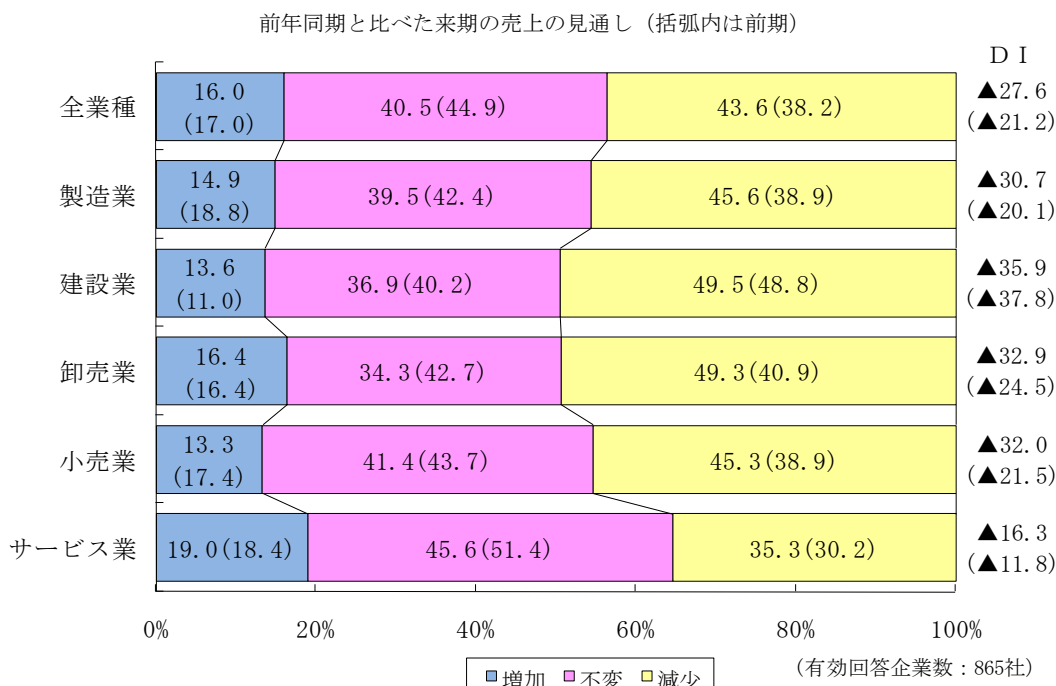
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の売上DI」は▲28.3（前期比▲9.3ポイント）となり、5期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別でも、全ての業種でマイナス幅が拡大した。なかでも、製造業、建設業、卸売業のマイナス幅は10ポイント以上拡大した。

【質問5】 今期（平成 20 年 4～6 月期）の売上水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の売上水準 DI」は▲39.1（前期比▲8.2 ポイント）となり、5 期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・業種別でも、全ての業種でマイナス幅が拡大した。なかでも、製造業、建設業、小売業のマイナス幅は 10 ポイント以上拡大した。特に小売業の DI は▲50 を超え、極めて低い水準となった。

【質問6】 前年同期（平成 19 年 7～9 月期）と比べた来期（平成 20 年 7～9 月期）の売上の見通しはどうか。

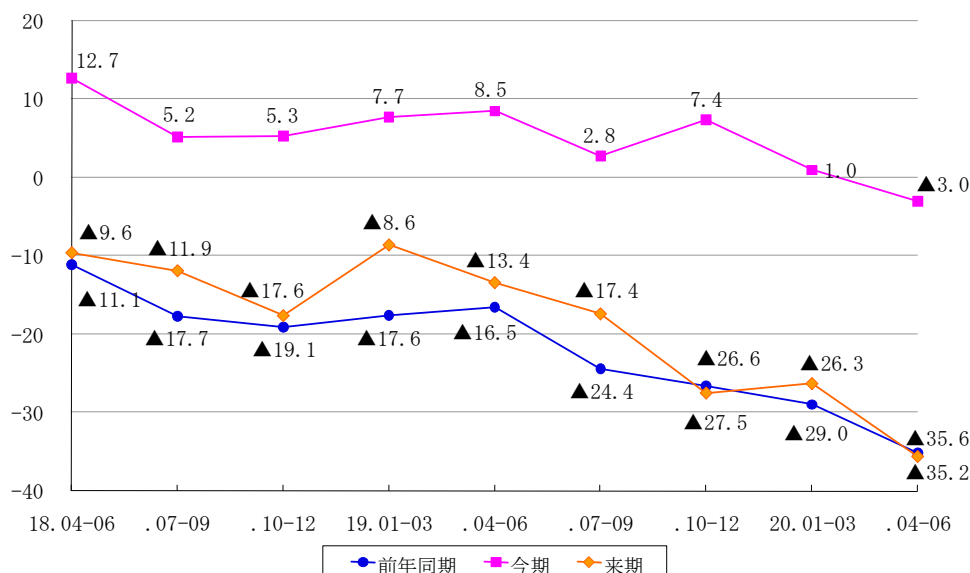


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の売上見通し DI」は▲27.6（前期比▲6.4 ポイント）となり、マイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、建設業を除いた全ての業種でマイナス幅が拡大した。なかでも、製造業、小売業のマイナス幅は 10 ポイント以上拡大した。

3. 採算（経常利益）

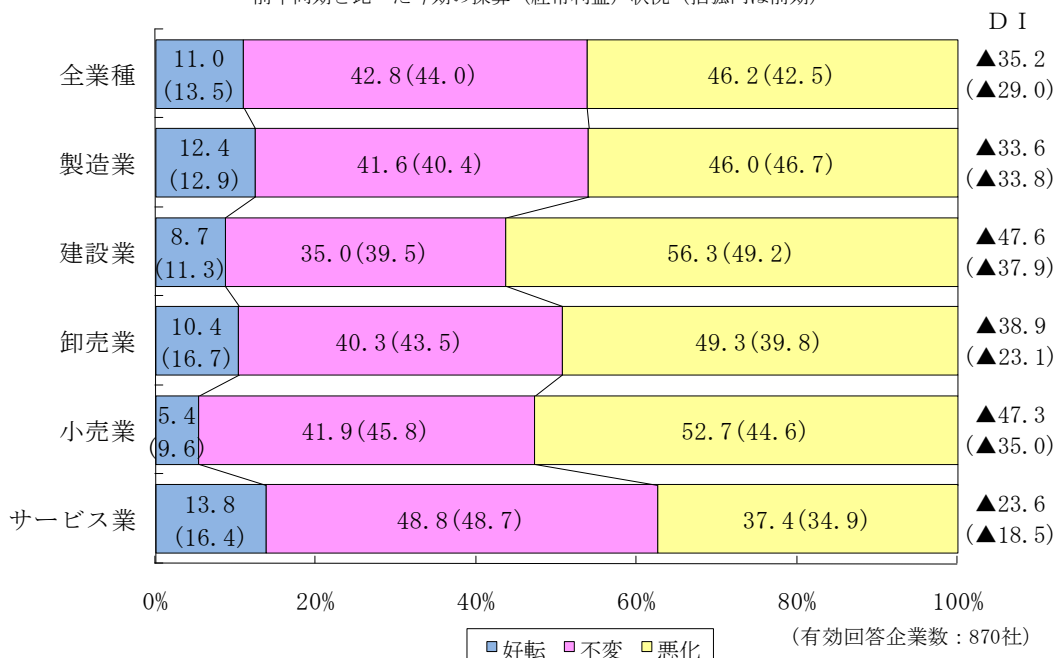
○全業種の「採算DI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が拡大した。なかでも「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲35.2（前期比▲6.2ポイント）となり、4期連続でマイナス幅が拡大した。また「今期の採算水準DI」が▲3.0となり、マイナスに転じた。

採算DIの推移（全業種）



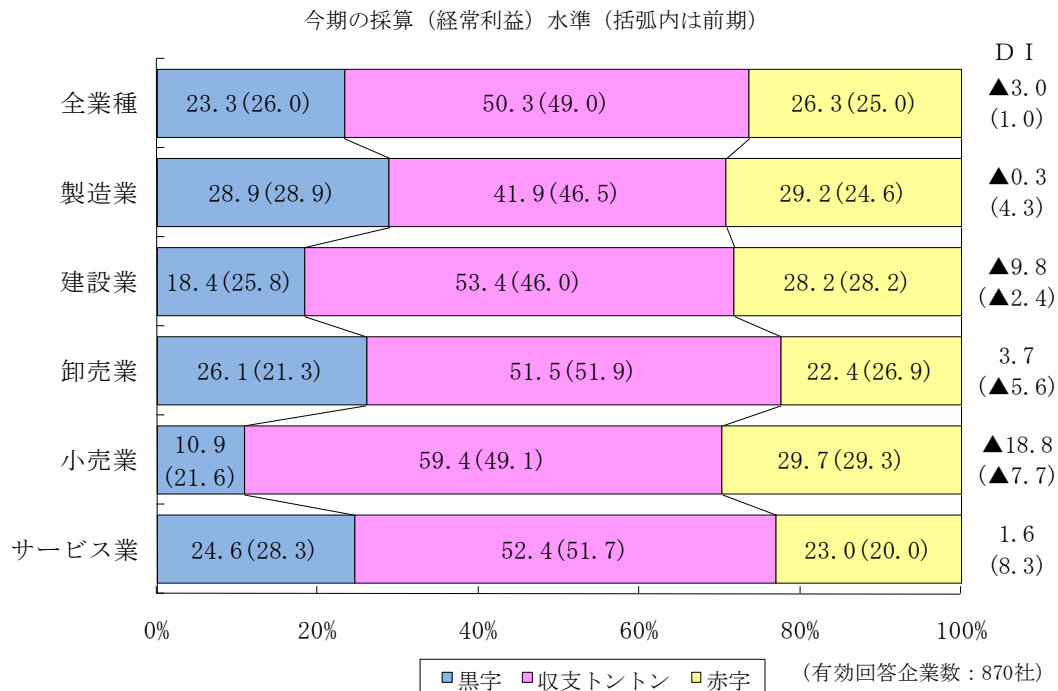
【質問7】 前年同期（平成19年4～6月期）と比べた今期（平成20年4～6月期）の採算（経常利益）状況はどうか。

前年同期と比べた今期の採算（経常利益）状況（括弧内は前期）



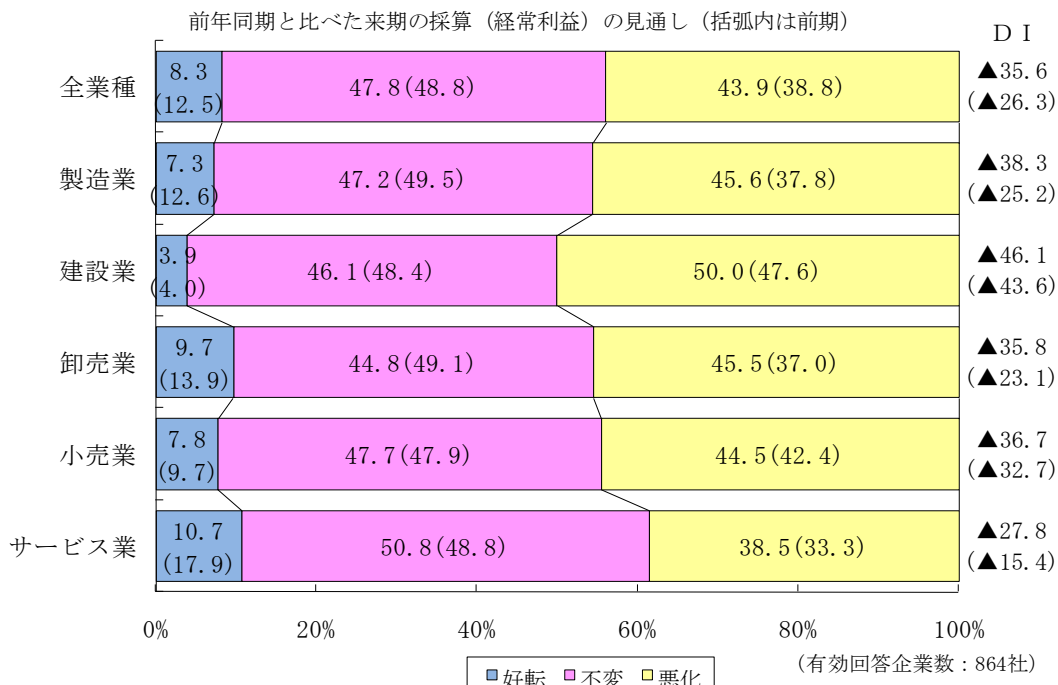
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲35.2（前期比▲6.2ポイント）となり、4期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、卸売業、小売業が10ポイント以上、建設業が10ポイント近くマイナス幅が拡大した。また建設業、小売業が極めて低い水準となった。

【質問8】 今期（平成 20 年 4～6 月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・全業種の「今期の採算水準DI」は▲3.0（前期比▲4.0ポイント）となり、マイナスに転じた。
- ・業種別でみると、製造業がマイナスに転じ、小売業のマイナス幅は10ポイント以上拡大した。一方で、卸売業は3.7（前期比+9.3ポイント）と10ポイント近く改善した。

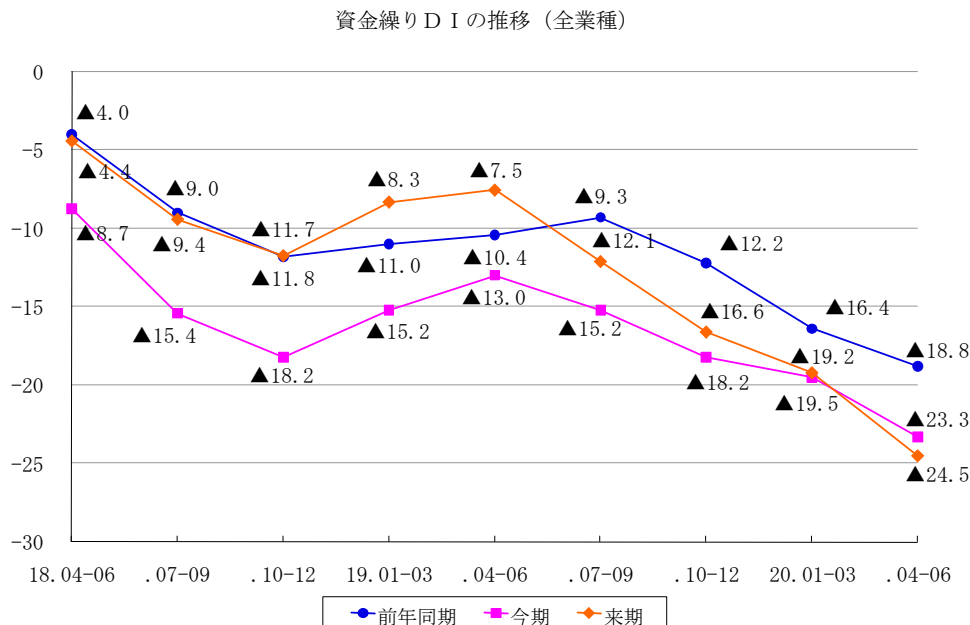
【質問9】 前年同期（平成 19 年 7～9 月期）と比べた来期（平成 20 年 7～9 月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。



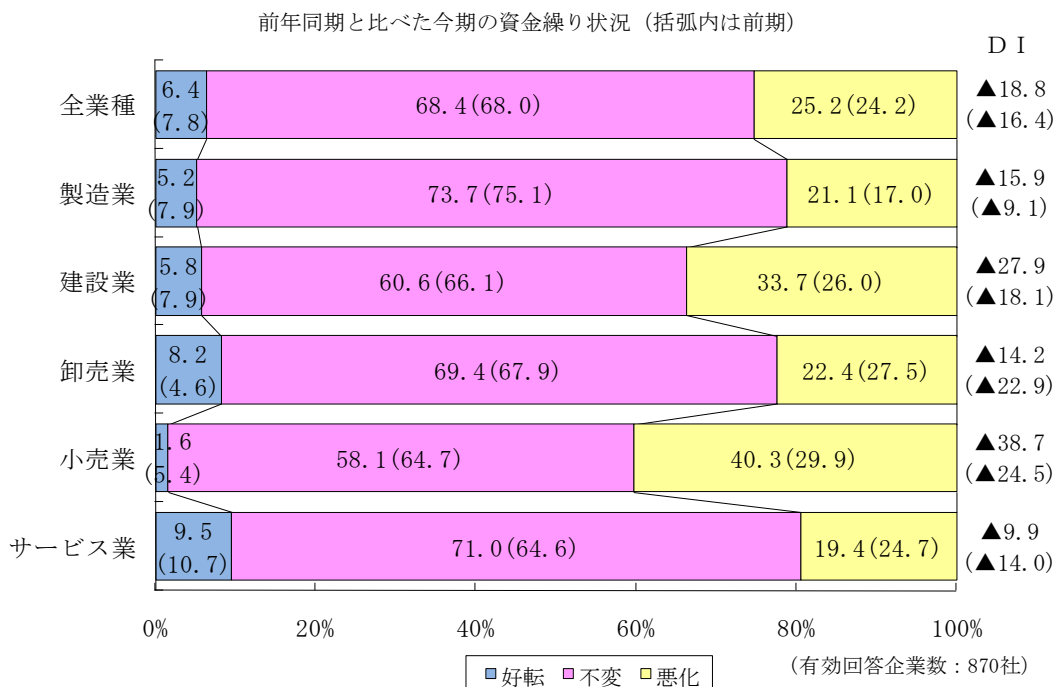
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の採算見通しDI」は▲35.6（前期比▲9.3ポイント）となり、マイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみても、全ての業種でマイナス幅が拡大した。なかでも、製造業、卸売業、サービス業のマイナス幅が10ポイント以上拡大した。

4. 資金繰り

○全業種の「資金繰りDI」は、前年同期、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が拡大した。なかでも「今期の資金繰り水準DI」は▲23.3（前期比▲3.8ポイント）となり、4期連続でマイナス幅が拡大した。

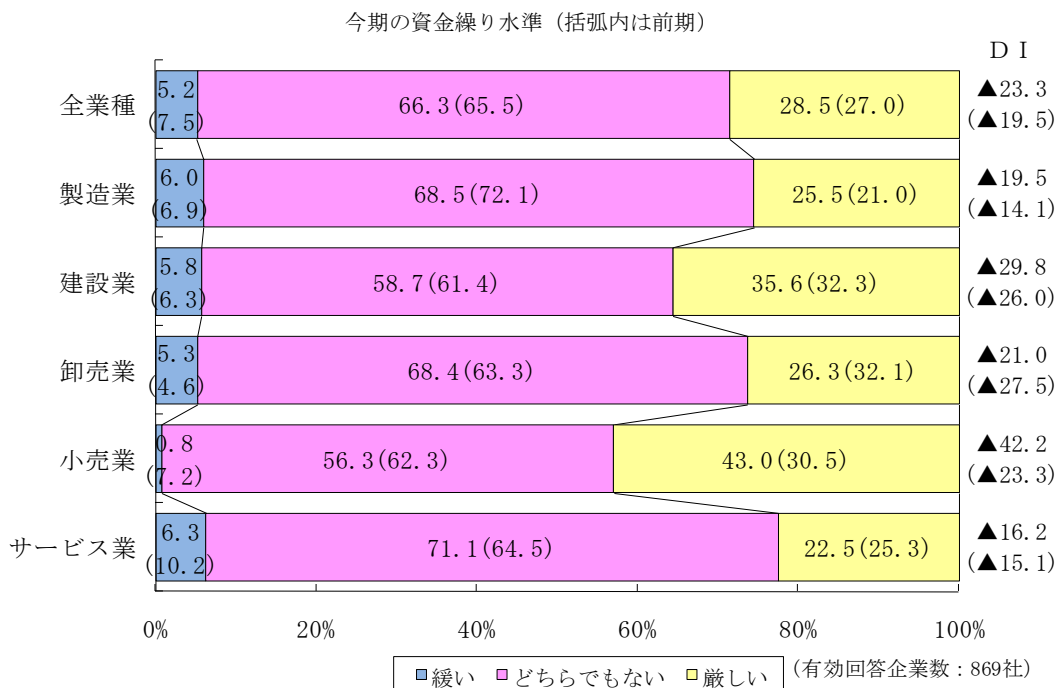


【質問10】前年同期（平成19年4～6月期）と比べた今期（平成20年4～6月期）の資金繰り状況はどうですか。



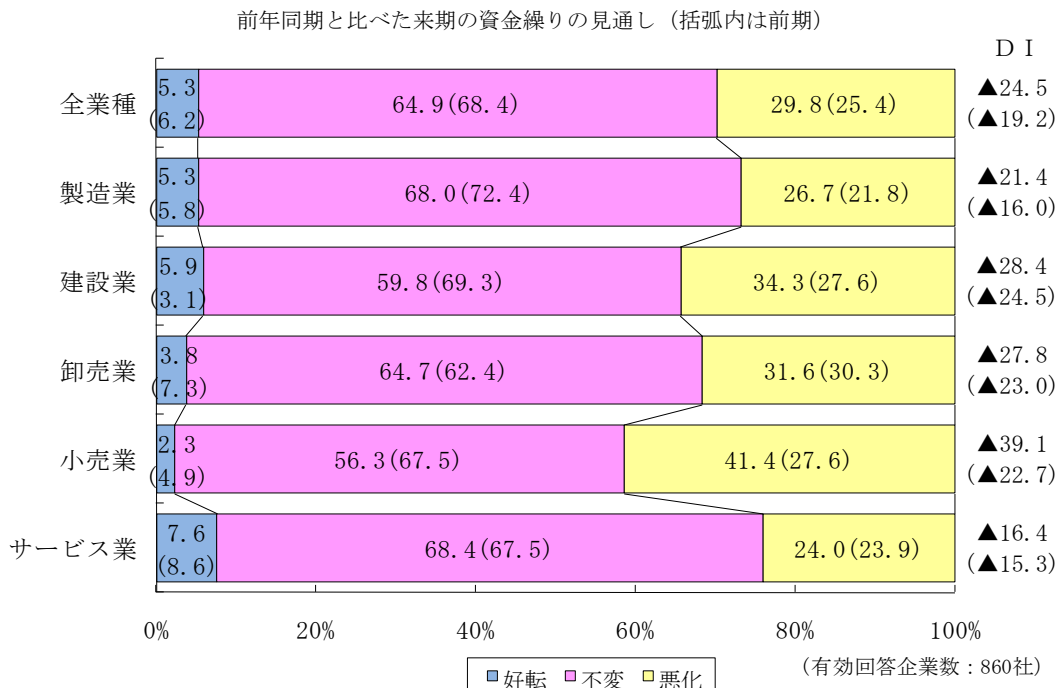
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の資金繰り水準DI」は▲18.8（前期比▲2.4ポイント）となり、3期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、小売業が10ポイント以上、建設業が10ポイント近くマイナス幅が拡大した。一方で、卸売業、サービス業のマイナス幅が縮小した。

【質問 1 1】 今期（平成 20 年 4～6 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の資金繰り水準 DI」は▲23.3（前期比▲3.8 ポイント）となり、4 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、製造業、建設業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。特に小売業は▲42.2（前期比▲18.9 ポイント）と大幅にマイナス幅が拡大し、低い水準となった。一方で卸売業はマイナス幅が縮小した。

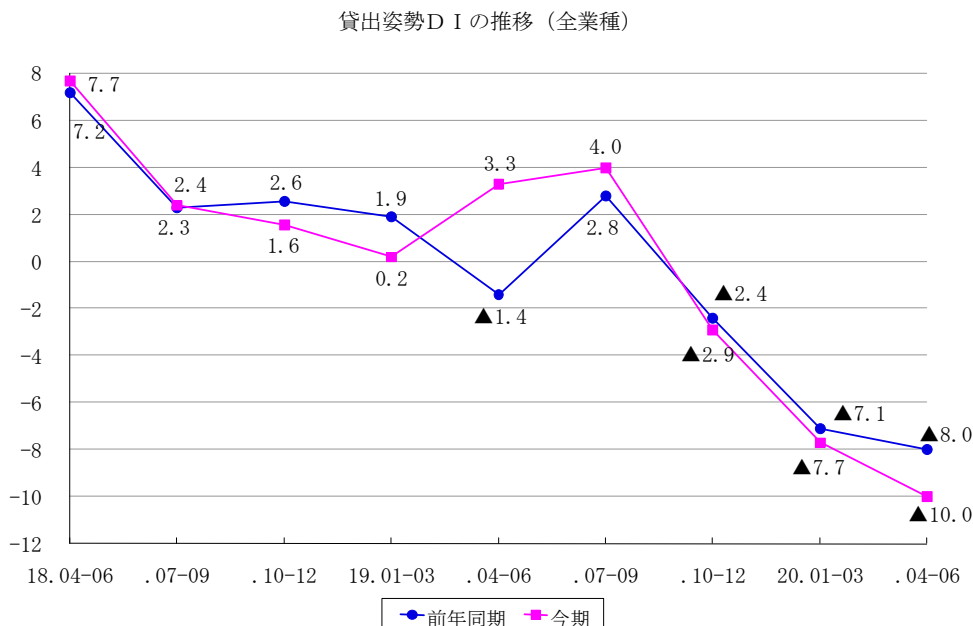
【質問 1 2】 前年同期（平成 19 年 7～9 月期）と比べた来期（平成 20 年 7～9 月期）の資金繰りの見通しはどうか。



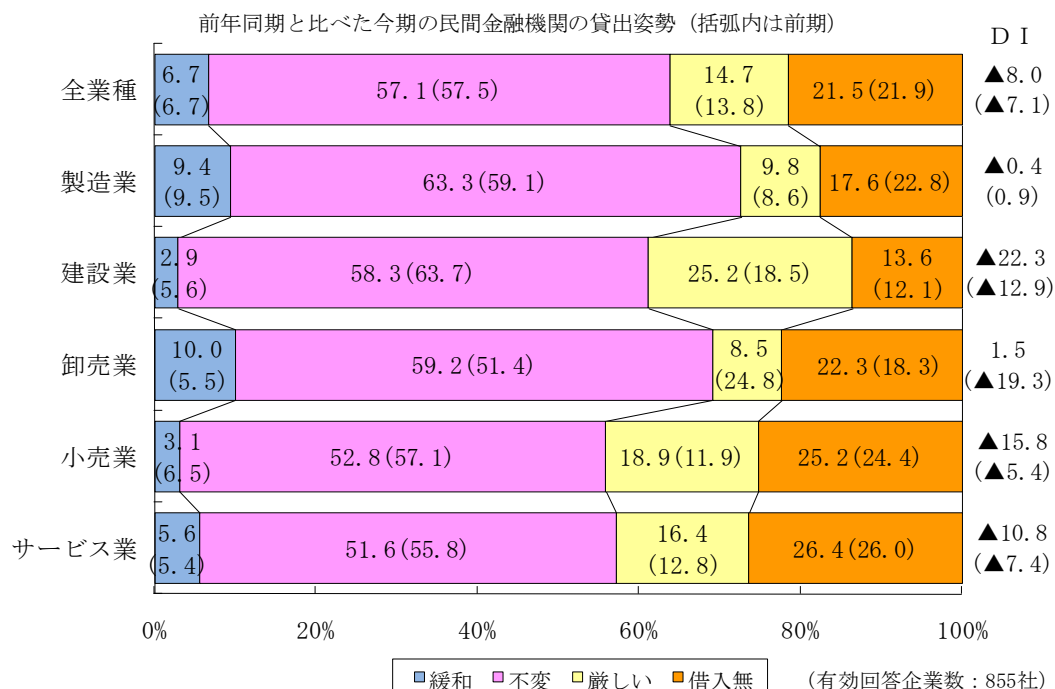
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の資金繰り見通し DI」は▲24.5（前期比▲5.3 ポイント）となり、4 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・業種別にみても、全ての業種でマイナス幅が拡大し、なかでも小売業は 15 ポイント以上マイナス幅が拡大した。

5. 民間金融機関の貸出姿勢

○全業種の「民間金融機関の貸出姿勢DI」は前年同期比、今期水準ともに、3期連続でマイナス幅が拡大した。

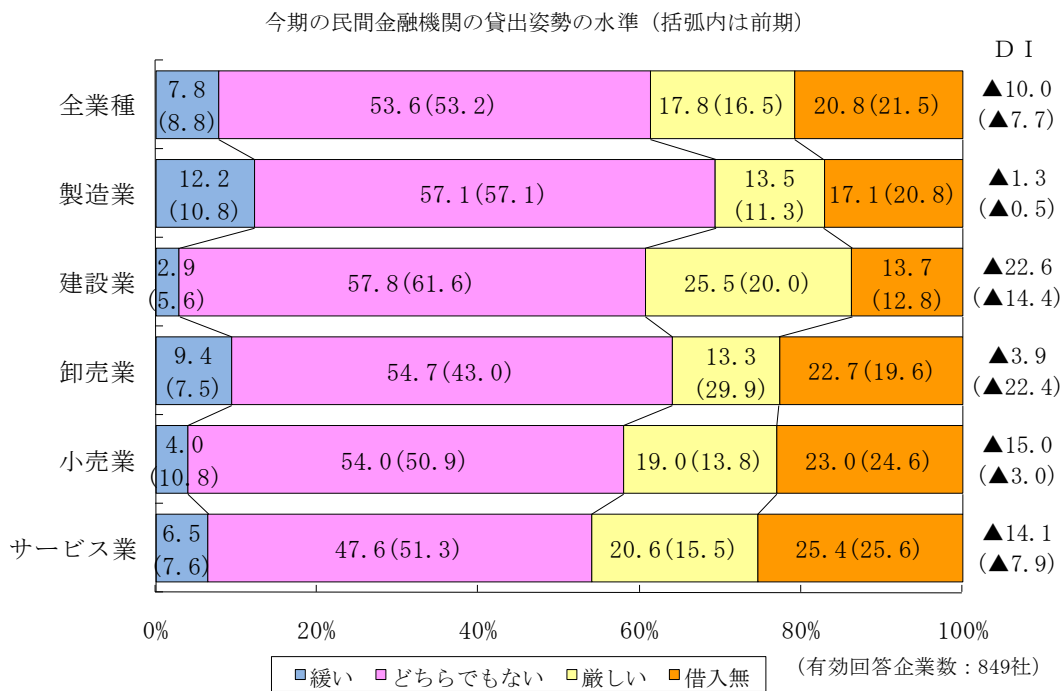


【質問13】今期（平成20年4～6月期）の民間金融機関の貸出姿勢は、前年同期（平成19年4～6月期）と比べて変化がありましたか。



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は▲8.0（前期比▲0.9ポイント）となり、マイナス幅が若干拡大した。
- ・業種別にみると、建設業、小売業が10ポイント近くマイナス幅が拡大した。一方で卸売業のマイナス幅が20ポイント以上改善し、プラスに転じた。

【質問 1 4】今期（平成 20 年 4～6 月期）の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の民間金融機関の貸出姿勢 DI」は▲10.0（前期比▲2.3 ポイント）となり、マイナス幅が拡大した。
- ・業種別でみると、卸売業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大し、なかでも、小売業は 10 ポイント以上マイナス幅が拡大した。一方で卸売業のマイナス幅が 20 ポイント近く改善した。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前期とは、平成20年1月～3月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。